

## ■親機

制御装置1台につき、親機は最大16台まで接続が可能です。

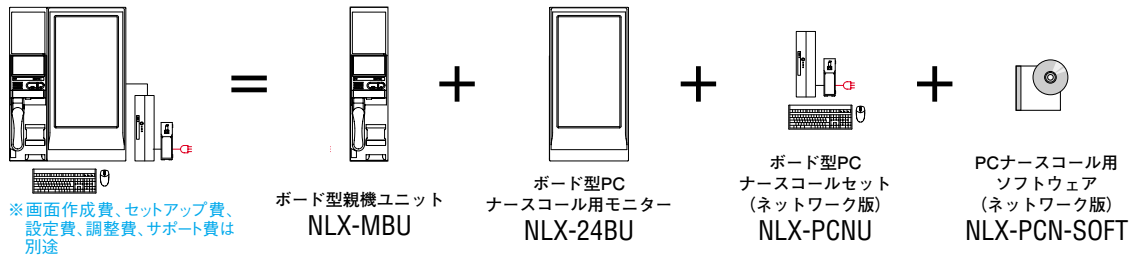
1台の制御装置で、最大8つのユニットを構成できます。

- ・子機から親機への呼出はユニット単位となります。  
(複数のユニットを設定して同時に呼出も可能です)
- ・ユニットごとにハンディナース呼出設定、チーム割付が可能です。  
(ハンディナース (PHS) は、各ユニットに最大16台、システム全体で128台まで※設置できます。チーム設定は4チームまでです)
- ・同一ユニット内に複数の親機を設置した場合は、呼出の遅延設定ができます。  
(一つのユニットの親機は、最大4台までです)
- ・ユニット間では、呼出転送(切替)ができます。ただし転送の再転送はできません。
- ・システム全体の通話路は、最大24通話路です。ただし、スマートフォン、ハンディナース (PHS) は、それぞれのシステムの通話路数に依存します。
- ・PCナースコールシステム(スタンドアロン)の場合、1ユニットあたり1台のPCナースコール親機(スタンドアロン)が接続できます。(システム全体で最大8台)

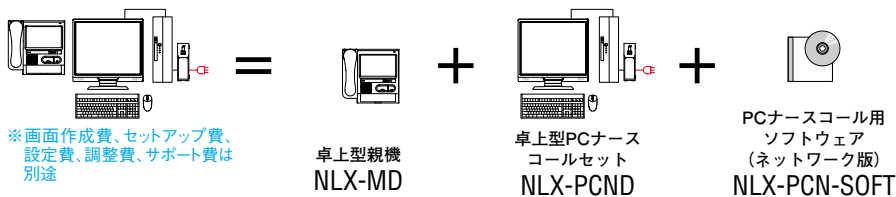
※ハンディナース (PHS) の最大接続台数は、PBXメーカー、機種によって変わります。

## ■機器組合せ例

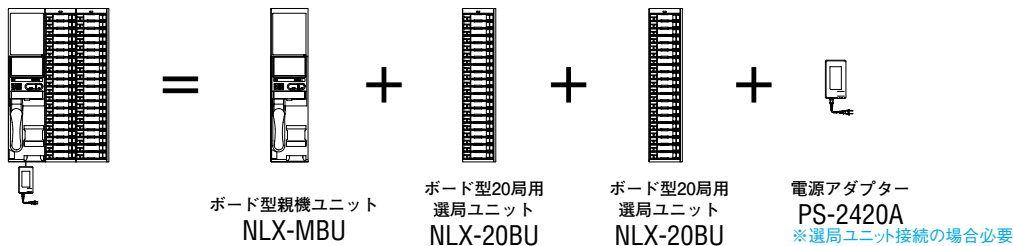
## ●ボード型クライアントPC親機(ネットワーク版の場合)



## ●卓上型クライアントPC親機(ネットワーク版の場合)



## ●ボード型親機(40局の場合)



## ●卓上型親機(40局の場合)

